



The Bamboo Shoots

～地方季刊新聞～
大和高田リスモ一都市友好協会 発行
2013年 冬号

No.158

連絡先:
大和高田リスモ一都市友好協会
TEL: 0745-22-1101
http://www.city.yamatotakada.nara.jp/

このバンブーシューツ（筍）が大和高田市とリスモ一市の情報交換に役立つ立派な竹に成長しますように

<ようこそ、大和高田市へ！>



2月4日、リスモ一市役所から大和高田市へ、Cameron Smith（キャメロン・スミス）さんが派遣されました。広報情報課で1ヵ月勤務することになり、交流をさらに深めるよい機会となりました。

滞在中は、食品衛生士として、市内の保健センターや総合福祉会館、奈良県消費・生活安全課、葛城保健所などを見学しました。

キャメロンさんは、日本の文化にもたいへん興味があり、柔道も黒帯の腕前です。今回は、日本舞踊やカラオケなども体験しました。専立寺や郡山盆梅展、梅の宿酒造、奈良町などを訪れ、またさらに、日本が大好きになったようです。

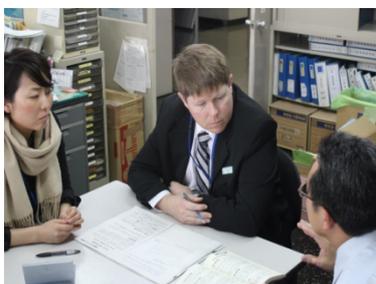
キャメロンさんに、いくつかの質問をしました。

1 今回の大和高田市訪問の目的は？

私の大和高田市訪問の理由は、2つあります。一つは、リスモ一市と大和高田市はとても強い結びつきがあり、私たちの市や市長が、私に高田市の市民や地域を見て、その間定期的に、日本文化をさらに正しく学ぶことが出来るようにと、時間を与えてくださったからで、とても素晴らしい機会となりました。

もう一つは、国の行政機関で働いていますので、食品検査の分野で他の市や県がどのように行政組織を運営しているか、大和高田市がその事業をどのように展開し、市民の面倒を見ているかを学ぶためです。

たいへん胸踊る思いです（両市の共通点も見つきたい思いです）。



2 リズモ一市での仕事の内容を教えてください

私の役職は、公衆衛生士ですので、公衆の健康に注意を払う責任があります。それで、食品店を検査して、正しい衛生基準で食品を安全に販売しているかを確認しています。市の給水検査結果を厳しくチェックし、市が市民に安全な水を提供しているかを確認しています。また、美容院、理髪店やタトゥー店が衛生基準を守っているか、法律の条件を満たしているかを検査します。それで本質的には私の大事な仕事の目的は、水準以下の危険な営業から公衆を守ることになります。

3 食品衛生に関して制度や基準の違いを感じたことは？

私は、嬉しいことに、衛生基準や必要条件の面で両市のシステムが似ていることに驚いています。大きな違いといえば、リスモ一市では日本とは異なり食品事業を行う為の資格を必要としていません。食品事業を行う場合はリスモ一市に届け出て、法の条件を満たすように建物を建築し、その後、市は当事業所が清潔を保ち安全な食品を生産しているかを毎年検査することになります。もう一つ私が日本で興味を持って注目したことは、食品検査技師（私もそうですが）になるための資格は、医師や歯科医や薬剤師のような免許が日本では必要ですが、一方オーストラリアでは、食品衛生技師や環境保険衛生士になるには、その資格を得るだけなのです。



4 日本の冬はどうですか？

私がこの時期を選んだ理由は、一つは個人的なもので、まずは初めての雪を経験し、スノーボードに行くこと、もう一つはオーストラリアでは見られないような暖炉のある絵のように美しいレストランで、窓から雪の降るのを眺めながら、現在の私の婚約者にプロポーズをするということでした。（お陰様で全て上手くいきました。）

私のはじめての寒い冬の経験としては、日本の気候も雪も大好きとはっきりと言えます。そしてまた、勿論のことですが、この特別な出来事は帰国してからもいつまでも鮮明に私の心に残ることでしょう。

（2面に続く）

5 印象に残った場所は？

高田市の歴史、特に資料館に深く感動しました。市のあちらこちらに見られる工芸品を未来の世代に残すために、保存しようと苦勞をされていることがよくわかりました。

昔ながらの古いお墓が、今もなお、市内で見られることができるのは、素晴らしいことだと思いました。

専立寺も訪問者にとっては是非見ておくべきお寺で、庭園は美しく、幸いにも私が訪れた日は雪が降っていて、写真を撮るのに最高でした。室内の襖に描かれた芸術性の高い絵も輝く彫刻も、同様に見ごたえのある美しいものでした。

桜並木のある、市内を流れる川は、絵のように美しい場所で、土手に雪が積もっていて、桜が満開になった時に、眺めたいなあ、と思いました。

カラオケやパチンコは、日本で余暇を過ごすには良い娯楽で、どんな観光客にも是非お勧めしたいものです。パチンコでのあの光景とあの音響、人前で歌うとなると、さあカラオケへ思い切って出かけようという経験の素晴らしさ。これは高田ならではのものではないけれど、この二つの娯楽を楽しみながら、人と人を引き合わせるのも(私をだめにしそうだが)高田の市民だと思いました。



6 大和高田市についての感想は？

素晴らしい街で、少し例を挙げるだけでも、図書館、学校、高齢者センターなどの施設が充実しています。商業の観点から言えば、多くの小売店があり、外食のための施設や娯楽場もあります(当市を訪れて以来その選択に困っている)。多くの点で、当市の人々は、ごく近くに様々な施設があり、豊かに暮らしておられると感じています。これは、立派な公共の輸送機関が身近にあり、どこへ行くにも自転車などを利用することも出来るからでしょう(これは、私がじかに経験していることです)。リズモー市のようにあまりにも広くて、小売店も少なく色々を選択するものがない所と比べて、高田市は、多くの点で便利に行けます。



7 大和高田市役所での生活を楽しめましたか？

市役所で働いて本当に良かったです。ここで働いて素晴らしい恩恵を受けました。市役所の建物の大きさや、一カ所で働く職員の数の多さに、驚きを隠せません。4週間を振り返ってみて思うことは、大和高田市で立派な仕事を可能にしているのは、建物の大きさではなくて、そこで働く人々の力だと思つづく思います。彼らは、とても親しみを持ってくれ、協力的で寛大な職員です。家庭的な雰囲気を見て、私は日々帰国するのが、悲しく思ってきました。広報課でしていた仕事を通して私は、市の多くの職員の方々や、高田市民の皆さんにお会い出来るという恩恵をいただきました。そのおかげで、ただ単に街の風物に親しめただけでなくて、市民の方々と本当に親しくさせて頂きました。



8 食品管理や公衆衛生について、大和高田市はリズモー市より遅れているのではと思いますが、あなたの考えを聞かせて下さい

食品管理や公衆保健の行政面で、リズモー市と比較して、懸念されることは、全くありません。食品検査技師が行う仕事は、私達と同じレベルです(どちらかといえば、オーストラリアよりも食品検査品目は多いでしょう)。公衆衛生の基準は、オーストラリアの方が少し厳しいように思いますが、これは当市の基準が低いことを意味するものではありません。私がこれまで多くの日本人を見てきたところから判断すると、日本人は望ましい公衆衛生の実施や食品の取り扱いにとっても気を使っているのです。消費者として色々な所で買い物をしたり、食事をしたりするとき、明らかに日本人は確かな見目を持っているということです。



<リスモア市と大和高田市 姉妹都市交流 50 年>

大和高田市は、オーストラリア・ニューサウスウェールズ州にあるリスモア市と、1963(昭和 38)年 8 月 7 日に、姉妹都市を結びました。これは、日本とオーストラリア間での、姉妹都市締結第 1 号でもあります。

そして今年 8 月、50 周年を迎えます。これは、日本とオーストラリアの交流 50 年をも意味し、今年 2013 (平成 25) 年は、日豪交流観光年にもなっています。

第 2 次世界大戦後間もないころ、オーストラリアでは、まだ強い反日感情がありました。そのような中、1955(昭和 30)年、リスモア市出身のパウロ・グリーン神父は来日し、翌年、高田カトリック教会に赴任しました。

グリーン神父は、まだ学生の時に、「戦争は終わった。しかし、相手の国に恨みを持ち続けることは、次の戦争を生み出すだけだ」という、両国の和解と友好に生涯をささげた、ライオネル・マースデン神父の言葉を聞いたそうです。



[当時のことを語るグリーン神父]

当時、オーストラリアでは、世界の 60 の都市と姉妹都市を結んでいましたが、日本との締結は、一つもなかったそうです。そこで、グリーン神父は、当時の名倉仙蔵大和高田市長に、英語で手紙を書きました。神父は、ローマ字を勉強していましたが、日本語は、まだ上手ではなかったそうです。返事は、すぐに来たそうです。名倉市長は、アメリカの大学へ留学経験があり、英語が得意だったのです。

その後、1962(昭和 37) 年 4 月、キャンベル・リスモア市長から、姉妹都市締結の承諾の意志が伝えられました。

●姉妹都市提携までの歩み

・1963 (昭和 38) 年 3 月

リスモア市との姉妹都市提携案を 3 月定例市議会に報告

・4 月 24 日

大阪のホテルにおいて、在日中のニューサウスウェールズ州へフロン首相と名倉市長夫妻が会見、両市の姉妹都市提携について懇談

・5 月

5 月臨時市議会において「リスモア市との都市提携について」満場一致で同意

・6 月 25 日

リスモア市へのプレゼント、市内の生徒、児童による絵画、婦人会員による手芸品、子ども会会員による寄せ書、千羽鶴、録音テープ、ボーイスカウトの活動アルバム、市の写真などを神戸港から送付

・7 月

リスモア市長より、名倉市長夫妻に姉妹都市提携調印式ならびに各種会合、施設見学などの招待を受け、市長のオーストラリア訪問を市議会で承認

・7 月 30 日

調印式に参加のため市長夫妻高田発、龍王宮および市役所で市民多数の見送りを受ける

・8 月 7 日

リスモア市議事堂で調印式



[盟約書]



['64 年 高田市を訪れたキャンベル市長]

実は、この締結日 8 月 7 日にも、意味がありました。広島に原子爆弾が投下された 8 月 6 日の翌日、両市の友好と世界平和を誓う日に、この日を選んだそうです。盟約書には、こう書かれています。

オーストラリア・ニューサウスウェールズ州、リスモア市と、日本、大和高田市は相互の友情を助長することを念願し、文化、産業の交流を推進する。この交流、この友情は、両市間のみにとどまらず、その母国、日本とオーストラリアにまで及ぶであろうことを信ずる。さらに、この両市の協調が全世界平和に貢献するであろうことを確信する。1963 年 8 月 7 日、われわれは姉妹都市としての協力をここに誓約する。

それから、50 年。その間、両市でおこった水害に、互いに寄付金を贈ったり、市民訪問団の派遣、交換学生派遣事業を続けてきました。昨年までに、大和高田市から 159 名の高校生がリスモア市を訪れ、リスモア市から 147 名が本市を訪問しています。

平成 23 年東日本大震災の年には、リスモア市では街頭募金が行われました。その夏に派遣学生がリスモア市役所を訪問した際には、中庭で追悼式が行われ、参加者全員が焼香をしたそうです。

これからも、両市が 50 年前に交わした盟約書のとおり、両母国の友情・交流のリーダーシップを取るような、意義深い姉妹都市交流を続けたいものです。



['82 年カウレイ市長来訪]



[交換学生事業]



[30 周年市民訪問団]

<成人式>



1月の第2月曜日は「成人の日」という祝日で、多くの市町村で「成人式」が行われ、新成人を祝います。

日本では、20歳以上を「成人」と定めています。成人の日とは「おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年をほげます」ことを趣旨とし、1948年に制定されました。

この日は、大和高田市でも「成人式」が行われ、市長から祝辞が贈られました。今年の新成人は、799名で、代表が成人として社会の一員となることを誓う挨拶を述べました。

式典の後、姉妹都市提携50周年を記念してオーストラリア、リズモー市から、プロとして活躍するコーラスグループの「イザベラ・ア・カペラ」がゲスト出演し、「ビリーブ」や「君をのせて」など、新成人もよく知る曲を透明な美しいコーラスで聴かせてくれました。外国からの嬉しいお祝いに、新成人達も喜んでいました。



<学校紹介>

大和高田市立高田こども園



平成22年4月に奈良県で初めての幼保連携型の認定こども園として、開園しました。

幼稚園と保育所で構成され、幼稚園は平日午前8時30分から午後2時まで、保育所は平日午前8時30分から午後4時30分(土曜日は正午)までが保育時間です。長時間や延長保育もあり、平日午前7時30分から午後7時までの保育を行っています。現在、幼稚園児(3歳~5歳)約107人、保育所児(0歳~5歳児)99人、計206人の児童が在籍しています。教育目標は、「心豊かにいきいきと生活し、じっくり考える子の育成」です。

年間行事も充実しており、交通安全教室、遠足、人形劇観劇、夕涼み会、かけあし大会などがあり、誕生会、身体測定や避難訓練は毎月行っています。また、地域の子育て家庭を対象にした親子の交流広場を提供するとともに、育児相談や子育てに必要な情報提供などの子育て支援事業も行っています。



◎8月にリズモー市に行きませんか?



今年は、オーストラリア・リズモー市と姉妹都市提携50周年です。1963年に日本で初めて日豪間で調印されました。

8月には、市民訪問団として、リズモー市への訪問を予定しています。その際に、「大和高田市デー」を開催し、より大和高田市を知ってもらうイベントも併せて企画中です。

樹齢60年を超える「高田千本桜」は、桜の名所として有名で、毎年多くの見物客で賑わいます。その様子が印刷された、高田川桜並木の大きなタペストリーや風景写真などを展示したり、リズモー市で縁日を体験してもらう予定です。また、茶道、書道、折り紙、着物の着付けなどの日本文化も紹介し、体験してもらう計画も進んでいます。ただいま、市民訪問団を募集中です。